

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>



注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

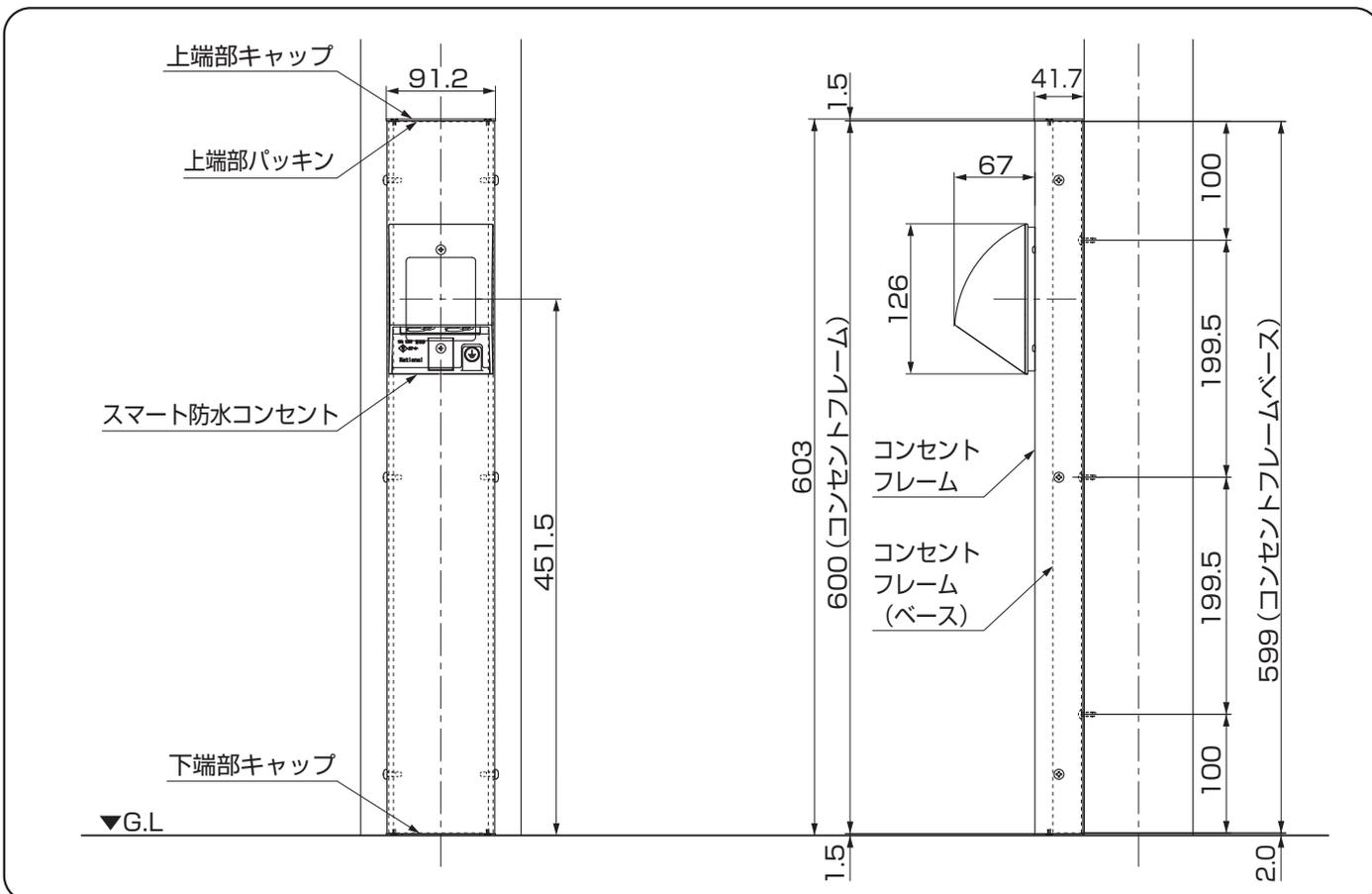
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の器具は、第3種接地工事を行なってください。
- AC100V用の配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を別途準備してください。
- PF管は現場で別途手配してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

■梱包明細表

【1】コンセントフレームセット

名称	略図	員数	名称	略図	員数
コンセントフレーム		1	下端部キャップ		1
コンセントフレーム (ベース)		1	【1-1】φ4×13 ナベドリルネジ		9
上端部パッキン		1	【1-2】φ4×20 トラスタッピンネジ 3種		2
上端部キャップ		1	【1-3】φ4×8 特サラタッピンネジ 3種 (D=6)		4
			取付説明書〈D499〉	—	1

1. 基本寸法と各部の名称



2. 基礎工事と配線工事

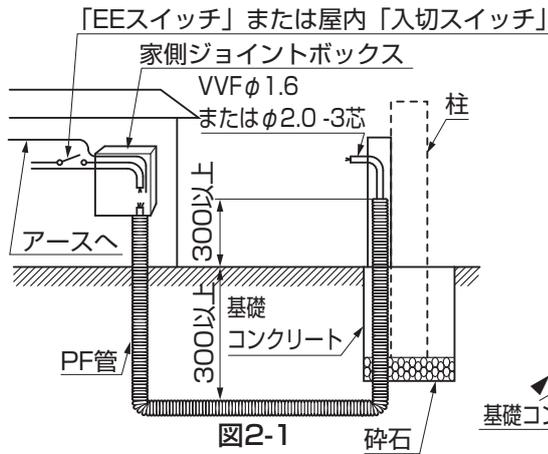


図2-1

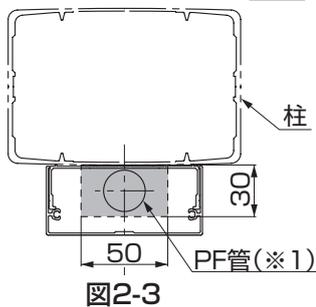


図2-3

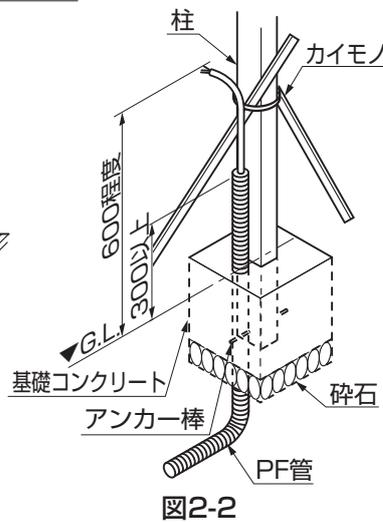


図2-2

- ①カーポート本体の柱の基礎穴を掘ってください。
- ②配線、配管をしてください。
- ③カーポート本体の取付説明書にしたがい、柱を建込み、基礎を打設してください。

ポイント

- 基礎の寸法、工事についての注意はカーポート本体の取付説明書にしたってください。
- モルタルが固まるまでPF管が動かないようにしてください。
- 養生中は配線の穴より雨水等が入らないようにしてください。
- PF管が [] 内に納まるようにしてください。(※1)

3. コンセントフレームの取付け

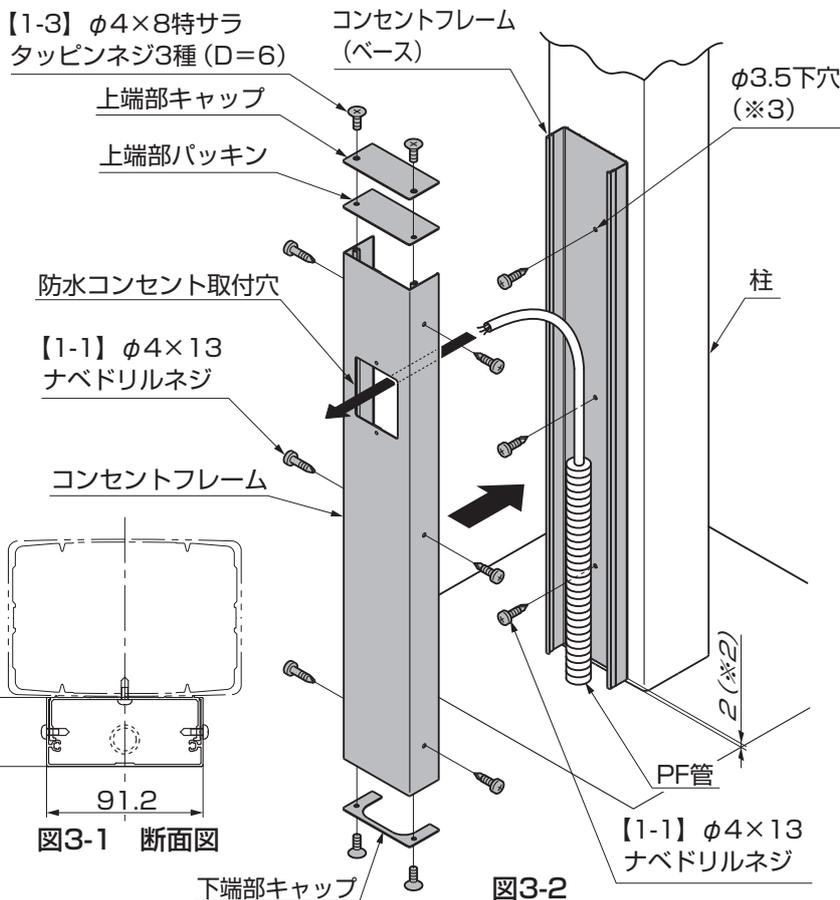


図3-1 断面図

図3-2

- ①柱にコンセントフレーム(ベース)を【1-1】で取付けてください。
- ②コンセントフレームに上端部キャップ、上端部パッキン、下端部キャップを【1-3】で取付けてください。
- ③コンセントフレームの防水コンセント取付穴に配線を通し、コンセントフレーム(ベース)にコンセントフレームを【1-1】で取付けてください。

ポイント

- コンセントフレーム(ベース)は、地面から2mm上の位置に取付けてください。(※2)
- カーポートSW・STのロング柱30、ロング柱35に取付ける場合は、下穴φ3.5を加工してください。(※3)

4. スマート防水コンセント (別売り) の取付け

※図はスマート防水コンセントの場合を示します。他のコンセントを取付ける際は、同梱されている取付説明書を参照してください。

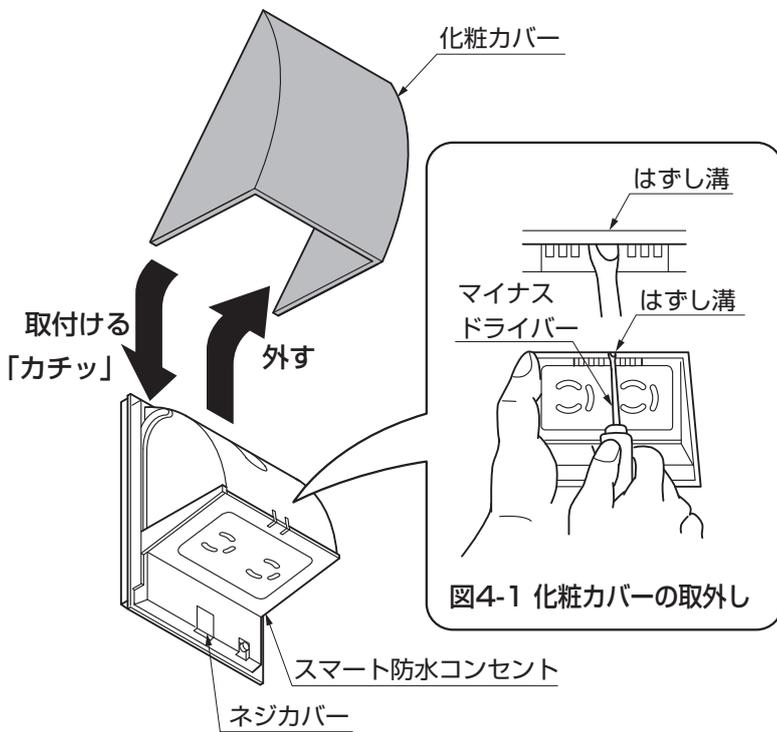


図4-1 化粧カバーの取外し

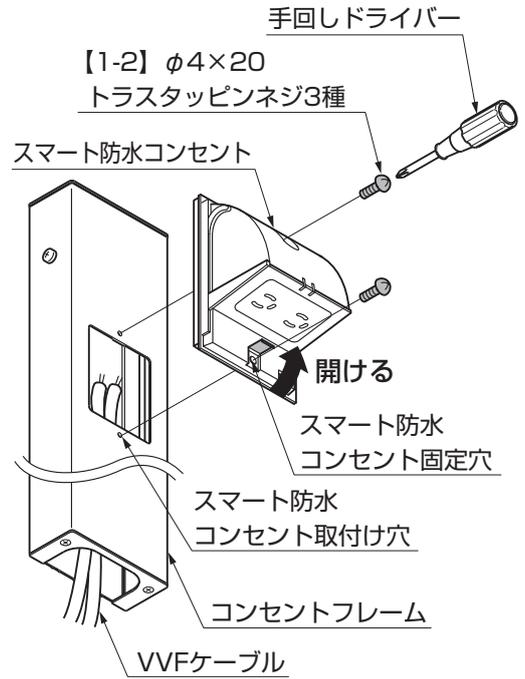


図4-2

警告

- 安全のため、家側からのAC100V電源を切ってください。感電のおそれがあります。
- AC100Vの分岐や配線工事は電気工事有資格者が行なってください。
- 結線する場合、電線を奥まで差し込んでください。差し込み不十分な場合、発熱し、焼損や火災の原因となります。

①コンセントの化粧カバーを外してください。

ポイント

- はずし溝にマイナスドライバーを差込んで、カバーをはずしてください。
- マイナスドライバーは無理にこじらないでください。カバーが破損するおそれがあります。

②下側のネジカバーを開けてください。

③スマート防水コンセント固定穴を、コンセントフレームのコンセント取付け穴に合わせてください。

④コンセントフレームにスマート防水コンセントを【1-2】で取付けてください。

ポイント

- スマート防水コンセントが壁面より浮き出ていると、防水効果が悪くなります。
- 取付けネジの締め過ぎに注意してください。器具が大きく変形し、カバーが取付けできなくなります。

⑤化粧カバーを取付けてください。

ポイント

- 化粧カバーを取付ける際は、「カチッ」と音がするまでスライドさせて取付けてください。

取説コード

D499

JZZ620040D
201004A_1039
202501E_1049